

特集
茗溪創基 150 年

目次

- グラビア …… 01 ~ 02
- 一般社団法人 茗溪会第9回定時総会 …… 03 ~ 10
- 茗溪創基 150 年記念事業について …… 11 ~ 14
- 茗溪創基 150 年記念基金のこと …… 15 ~ 16
- 茗溪のきずな …… 17 ~ 18
- 筑波大学はいま …… 19
- Peer Garden …… 20 ~ 21
- 桐の葉のつどい …… 22
- 著書紹介 …… 22
- 茗溪学園だより …… 23
- 追悼録 …… 24
- 令和2年春の叙勲おめでとうございます …… 25
- 広報 …… 25
- 表紙のことば …… 25
- 編集後記 …… 25

茗溪



夏・秋
合併号

2020

令和2年

no.1106





日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 7-7-4

ユーハイム®

ハローハイム
お客様係 TEL 0120-860816
受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者様の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供するこ
を目標としています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことすべて
SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)



力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。



■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)※

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科(管理栄養士養成課程)※

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科(看護師養成課程)※

※2020年度に新学部への再編を構想中

常務理事 河野 隆二(S47農)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(神奈川茗溪会会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

リーフレットとカードについて



茗溪会にお誘いする時にお役に立てていただければと思い、リーフレットとカードを同封させていただきました。どうぞお役立てください。この『季刊誌茗溪』をお届けいただいている方々が茗溪会員です。

今年度は、地域総会や懇親会が中止に追い込まれていますが、少人数の会合などで、ご活用いただければと願います。

- ・リーフレットやカードが必要な方は、遠慮なくお申し付けください。
- ・カードの使い方や改善、あるいは内容追加があればご提案ください。

(P.17 参照)

第9回定時総会



例年、全国校長会に合わせて開催していた定時総会ですが、校長会が中止となり、「5月の最も遅い時期なら可能と」判断し、5月30日(土)に開催としました。開催にあたっては、「3密」を避ける手筈で、例年の長机方式から丸テーブル(1テーブル4人掛け)に変更し、目標通り15時で閉会しました。閉会後の懇親会は取りやめとし、代えて、代議員と理事によるグループ協議としました。テーマは、新型コロナウイルスの拡大により各地域の総会や懇親会の中止等が予想されるが、この事態の打開について話し合うというもので、和気藹藹とした雰囲気の中で活発な協議となりました。



- *上の写真 第3号議案の審議後の採決の様子
- *右の写真 グループ協議の様子
 - ・ケーキを頂きながらの談笑風景
 - ・協議内容を発表する代議員

(P.6 参照)

《茗溪会本部 今年度前期の主な学生支援活動風景》

オンラインOB・OGキャリアカフェ



新型コロナウイルスが蔓延する中で、茗溪会本部は、大塚の茗溪会館や筑波の学生会館内の事務所を拠点として、可能な限りの学生支援を展開しています。写真は、大塚事務所で実施したオンラインによるOB・OGキャリアカフェ（7/4～7/8）の様子です。

オンライン会議ソフトを活用した窮余の策といったところでしたが、予想外に反応が良く、昨年実施の対面方式と併せて実施できる手応えを得たようです。

(P.12 参照)

教員採用2次試験対策講座

教員採用2次試験対策講座が8月8日～10日に開催されました。参加者29名。神奈川と埼玉が合同で指導に当たるといった初めての企画も試みられ、受験生の刺激や交流により視野が広がるという意味で手ごたえを感じました。

- ・左写真 集団協議の様子
- ・下写真 模擬授業の様子

(P.13 参照)





一般社団法人
茗溪会 第9回 定時総会

令和2年5月30日(土) 茗溪会館にて

定時総会出席代議員一覧

(敬称略)

地域組織	氏名
埼玉	奥谷 多作
東京	浅井 一郎
東京	海老沢 敬子
東京	中村 穎司
東京	三橋 浩志
東京	柳 久美子
東京	渡邊 悟
神奈川	大石 進
長野	北村 圭一
長野	卷山 圭一
愛知	竹下 裕隆
高知	野田 智洋

一般社団法人茗溪会

第9回 令和2年度 定時総会

挨拶 (要旨)

一般社団法人 茗溪会

理事長 江田昌佑



関係各位のご理解とご協力を得て、本日、第9回定時総会を迎えることが出来ましたこと心から感謝申し上げます。

本日の総会は、世界を震撼させている新型コロナウイルス禍の最中に開催する羽目になりました。代議員の皆様にはまことに迷惑をかけることになりました。理事会、執行部会等で延期或いは中止等々の選択の議論を重ねた結果、可能性を追って、5月末の日程で実施することに踏み切りました。本年総会は、法人としての重要議題と併せて将来への布石とする茗溪創基150年記念事業についてなど、運営上空白を作ることは許されない事情下にありました。この間の事情をご高察下さりご理解たまわりたく存じます。

今回の新型コロナウイルス感染症によって、お亡くなりになった方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々や影響を受けた方々に心からの御見舞いを申し上げます。

この未知のウィルスとの対峙は、人類が経験したことがない、われわれの生存をかけた闘いになっています。わが国においても、諸々の面で逼迫した状態の今日であり、20世紀最悪のパンデミックとされるスペイン風邪は100年前になります。わが国でも多くの犠牲者が出た悲惨な出来ごとでした。

ノーベル賞受賞の山中伸弥教授は「新型コロナウイルスとの闘いは、短距離走ではなく、1年は続く可能性があるマラソン」と表現され、「疲れたり、油断して止ってしまうと感染が一気に広がり、医療崩壊や社会混乱が生じる。一人ひとりがそれぞれの状態に応じたペースで走り続ける必要があります。」と述べています。

今、われわれは専心新型コロナウイルス禍に立ち向って闘い、そして、その時その時に起こることがらに對して、それぞれの状況に応じたペースで走り続けることこそ必要なことであります。収束への必須の道程と考えます。更に、社会生活上にも大きな転換をもたらす時期の到来を予見させます。静かに思慮をめぐらす時でもあるでしょう。

伝承と創造の茗溪会活動は、新型コロナウイルス禍に敗北を喫するわけには参りません。われわれの気概は、挫けることなく、嘉納治五郎先生が提唱された「盡己殫成(シンキンセイ)」すなわち事が成るまで努力し続けることであります。

本日の総会でご審議願う令和2年度の事業計画及び予算の案件の今後については、諸般の情勢が時々刻々に変わることが予想されますので、執行には臨機応変の対応が迫られます。従って、修正或いは変更のあることをご了承下さることをお願いいたしておきたいと存じます。勿論、理事会等の審議を経ることは言うまでもありません。

本年度の事業計画の骨子について申し述べておきます。(1)茗溪創基150年記念事業の推進を図り、将来を見通して、より積極的な事業展開を目指す。

上記記念事業は「ブランドテーマを、伝承と創造」とし、令和元年から令和4年の4年間に亘って展開する。

- (2)茗溪会活動の領域を教育界と産業界(官界を含む)の2本建てとして組織化を推進する。
- (3)地域組織等の活動の充実・活性化事業を推進する。
- (4)新規会員の獲得、正会員の増加及び会費納入率アップのための組織的計画的な活動を推進する。

茗溪創基150年記念事業の一環として、スタートした昨年の実施状況の概要を報告しておきます。関係各位の献

身的なご尽力で成果があったものと評価されています。

○占春園再生事業及び完成披露。占春園整備事業として筑波大学に寄付した。

○教育界の柱建て：教職課程講座の充実。東京、埼玉、千葉、茨城、神奈川の各茗溪会が協力して講座を開催した。

○産業界の柱建て：各地域組織の試み：

・東京茗溪会：茗溪筑波大学産業人会

・神奈川茗溪会：茗溪を同窓とする若手の幅広い交流

・近畿ブロック：茗溪関西・教育研究・産業人会(MKS)の発会

・九州ブロック(福岡)、中京ブロック(愛知)等における準備会など

・茗溪会(本部)主催等：茗溪・筑波産業人倶楽部の意見交流会。就職相談会。キャリアアカフェ等。

○茗溪会の公開講座
・真田 久理事の「つくばとオリンピック」(6月29日)

・藤原教授の英語のはなし「第18弾」(11月9日)
○学生活動支援事業(8月9日)

○追悼つどい(9月28日)

○第96回箱根駅伝応援(1月2～3日)

・茗溪本部(事務局)、神奈川茗溪会、東京茗溪会、千葉茗溪会、陸上競技部OB・OG会、大学職員等々(概数2,500人)

・宣揚歌入りのステイックバルーン贈呈(筑波大学体育会執行部へ)

・茗溪会賞(芸術部門を含む)：受賞者・筑波大学大学院修了者及び芸術専門学群生 計33名(3月末)

茗溪会の昨年の歩みの一端を述べましたが、茗溪創基150年記念事業の道程が本会の将来への輝ける躍進の礎石になることを希っています。

理事会は一丸となって本会発展のため渾身の努力をいたします。

代議員の皆様、全国各地組織の皆様には、茗溪会発展のために特段のご理解と更なるご協力をお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス禍に屈することなく、収束に向っての日々の努力も怠りなく、ご健勝で、ご活躍下さることをお祈り申し上げて挨拶といたします。

令和2年度 茗溪会定時総会

ご挨拶

国立大学法人 筑波大学長

永田 恭介

(代読) 筑波大学副学長 佐藤 忍



日頃より、貴会からの本学へのご支援に感謝を申し上げます。貴会の令和2年度の定時総会に際して、ご挨拶を申し上げます。

大学を含めて、我々は激動するグローバル社会の中にあります。今、まさに新型コロナウイルスが驚異的なスピードで世界中に広がっており、そういう社会であることを実感されているのではないのでしょうか。コロナウイルスが新大陸から新たな感染症を欧州にもたらした頃と比べれば、旅する時間、物が運ばれる時間、今回のような感染症が伝播する時間は2桁以上早くなっています。情報にいたっては、瞬時のうちに世界を駆け巡ります。デジタルトランスフォーメーションが進む社会では、密林の奥地や最果ての地との情報交換も極めて容易になりました。至便にはなる一方で、いわゆるフェイクニュースも拡がり、市井では店頭からトイレトパーパーがなくなってしまうといった事態もたらしています。グローバル化した社会では、様々な活動も国を越えて行われています。実際、この感染症は、たちまちのうちに株価に

影響を与え、グローバル経済は下方に向かっています。国や地域、あるいは個々のコミュニティの間の境界は、それらが成立した時の概念を持ちながらも、明らかに互いに境界を超えた活動を余儀なくされています。デジタルトランスフォーメーションの裏側では、今ではガラケーなどと呼ばれることもある初期型携帯電話のようにかつては一斉を風靡したものがシステムが姿を消していきつつあります。職業などについても同様のことが起こるのではないのでしょうか。これらに鑑みると、大学の活動にも変革が求められているという認識を持たなければなりません。真に人がかかわらなければならぬ仕事、あるいはかかわるべき仕事を見出すとともに、その仕事において新たな価値の創造に繋がる活動のできる人材の育成が求められています。また労働集約型社会から知識集約型社会への変化が進む中では、これに対応できる人材の養成が求められています。

こうした社会からの要望に確実に応えていくためには、これまでの教育内容、教育方法、教育システムなどを含めて、大学における教育全般について再考しなければなりません。伝統を守るという意味は、単に過去に確立した事柄などを継承することではなく、基本的な考え方に基づいて、価値ある部分を維持し発展させながら、不断に見直しと改革を繰り返す、後世に残すべきものを丹精するということだと考えています。教育現場では、「昔は〇〇であったのに、…」、「最近の△△は、…」と言う前に、将来を想像し、現況を批判的に見るのが重要です。本年4月からは、全学的に学位プログラム化された大学院課程教育が始まりました。全学的な学位プログラム化は、すでに学問分野間の垣根が低いと言われている本学において、さらに分野横断的な教育が推進されることを意図したものです。今年度からは、開学の時から学位プログラム化されていた学群教育の充実に向けた検討を始めることになっています。

新たな教育を実践するためには、それを支える高いレベルの研究力が必須です。サイバニクス、感性認知脳科学、ヒューマンバイオロジ、統合睡眠医学、エンパワメント情報学、ヒューマニクスなどの新たな研究分野を創出してきた実績を有する本学は、学問分野間の学際的な協働をこれまで以上に実り多いものにしていかなければなりません。そのためには、人と社会、自然と環境のあらゆる側面を徹底的に探求する基礎研究について、

多様性を維持しながら、成果の長期的蓄積が必要です。加えて、各分野の卓越性をより高めていくことが重要です。学際的な協働をすすめるためには、そのための研究インキュベーターが必要です。研究大学強化促進事業で活用した学術センターシステムからは、科研費新学術領域研究に連続して採択されている日本最高峰の西アジア研究拠点「西アジア文明研究センター」、新学術領域研究の代表者を生み、またJST ERATOプログラムを推進している「微生物サステイナビリティ研究センター」や、ノーベル賞受賞者である朝永振一郎博士の研究を継ぐ「宇宙史研究センター」などの新たな研究分野を切り拓く研究拠点が生み出されてきました。このシステムを拡充していきたいと考えています。

本学の教育および研究から生み出されて成果を社会に還元することも大学に求められていることです。この点に関しては、大学発ベンチャーの累積起業数が東京大学、京都大学に次いで国内第3位であるという本学の優位性に着目したいと考えています。教員、学生、大学院生を対象にしたアントレプレナーシップ教育を充実し、大学発ベンチャーを立ち上げ、資金調達を支援してベンチャーの成長を促し、ビジネスの拡大によって得られる利益の一部を大学へ寄附金、有価証券、共同研究費などの形で上記のプロセスに還元し、循環的に推進するベンチャーエコシステムの整備をすすめています。

昨年のラグビーワールドカップ2019日本大会は大きな盛り上がりを見せました。本学卒業生も活躍しました。本学陸上部の駅伝チームは昨年の箱根駅伝予選会を突破し、本年1月23日に26年ぶりに箱根駅伝への出場を果たしました。学生たちの活躍を、寄付で、あるいは現場での応援で支えてくださった茗溪会の皆様にご挨拶を申し上げます。一方、今年開催が予定されていたオリンピック・パラリンピックにも大きな盛り上がりが見込まれていましたが、残念ながら1年の延期が決まりました。今は新型コロナウイルスの拡大を抑えるために国民が「丸」となって戦っていかねばならない時です。筑波大学もこうした様々な出来事を経験しながら、明日の課題を見据えつつ、日々の研究と教育と学生にじっくり向き合っています。

茗溪会におかれましてはますますのご発展をお祈りするとともに、引き続き本学へのご支援をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 茗溪会(令和2年度) 第9回定時総会議事(要旨)

一般社団法人茗溪会第9回定時総会は、新型コロナウイルス感染症で混乱する中、緊急事態宣言解除直後の令和2年5月30日(土)13時30分から茗溪会館2階「茗溪」の間において開催されました。議事に先立ち、矢野常務理事(事務局長)から、代議員(社員)総数93名のうち、出席者9名、委任状による出席者76名、合計85名の出席があり、定款第17条により定時総会は成立する、という報告がありました。



理事長挨拶

冒頭、江田理事長から、新型コロナウイルス禍の中だが、重要課題への対応と将来への布石のためこの時期にあえて開催すると熱い思いが語られ、昨年度の様々な取り組み状況の紹介とともに、本年度の重要課題として、グランドテーマ「伝承と創造」とした茗溪創基150年記念事業の推進、活動領域を教育界と産業界

の二本建てとした組織化、地域組織等の充実・活性化、新規会員の獲得など会員の増大を4本の柱として、嘉納治五郎先生の事が成るまで努力し続けるという「盡己疎成(ジンキシセイ)」の精神で活動し続けたいと述べられました。(P4参照)

続いて、欠席された筑波大学学長からの挨拶文を常務理事が紹介しました。(P5参照)

議長就任、開会宣言及び議事録署名人

次に、定款第15条により理事長が議長につき、議長から、第9回定時総会を開催するとの開会宣言がありました。定款第19条により議事録は議長及び総会において選出された議事録署名人2名が署名することになっており、柳久美子代議員と渡邊悟代代議員を選出して、議事に入りました。

審議事項

第1号議案 令和元年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について

議長から、本議案は一括説明、一括審議、一括承認の流れで諮りたいとの発言があり、次いで、矢野常務理事から令和元年度の事業について説明があり、また、

岩田事務局長代理から元年度予算・実績対照表、貸借対照表、財産目録、注記事項、正味財産増減決算書、財務諸表附属明細書、財務諸表に対する注記について、それぞれ概要説明があり、飯塚監事から、元年度会計期間における会計・業務の監査結果は、法令又は定款に違反する事実はなく適正と認めるとの報告がありました。



飯塚良成 監事

以上を受けて、議長が、本議案を一括して諮ったところ、本議案は賛成多数で可決承認されました。

第2号議案 令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について

議長から、本議案は一括説明、一括審議、一括承認の流れで諮りたいとの発言があり、これを受け矢野常務理事から2年度事業計画(案)について、茗溪創基150年記念事業の推進を図り、それを機に将来を見通してより積極的な事業展開を目指したいと、具体的な事業計画の説明がありました。ただし、今年度については新型コロナウイルス感染症の影響も想定され、場合によっては例年通りの事業実施は困難であり、季刊誌も年4回の発行は困難であるとの説明がありました。ま

た、岩田局長代理から2年度予算(案)について提案説明がありました。予算編成をした後に新型コロナウイルスの動きが出たのだが、その影響で家賃収入などの収入減も今後予想されることから、今後予算執行も大きく変わることもあり得るとの説明がありました。議長から、本議案を一括して諮ったところ、本議案は賛成多数で可決承認されました。

第3号議案 役員を選任について

役員は、本総会の決議によって選任されることになっておりますが、役員候補者については、理事会内に設けられた役員選考委員会で選考し、理事会での合意を得て本総会に提案するものであることの説明がありました。その選考委員長を務めた井口副理事長から、定数は理事は15名以上25名以内、監事は3名以内であり、任期はいずれも2年であること、本年5月9日、役員選考委員会(委員7名)を開催して慎重審議を経て、5月理事会で合意を得たので、本総会に上程したいとの提案がありました。今回提案された理事候補者は24名、うち重任理事候補者は22名、新任理事候補者は2名、監事候補者は3名、うち重任監事候補者2名、新任監事候補者は1名であることの説明がありました。理事・監事の選任の決議は各候補者ごとに採決することになっており、全員賛成多数により承認されました。【重任理事】阿江通良、新井達郎、井口武雄、江田昌佑、大澤義明、川田孝一、河本武、佐藤忍、真田久、柴田淳、高橋基之、田代淳一、田中正造、西川綾子、早川源一、春山賢男、廣田則夫、福岡一雄、

宮尾徹、百瀬明宏、守橋健二、矢野正人
【新任理事】 佐藤順一、谷出正直
【重任監事】 飯塚良成、小泉淑子
【新任監事】 高野力



新任理事 谷出正直氏・佐藤順一氏

報告事項

(1) 茗溪創基150年記念事業（企画と拠金）について

記念事業実行委員長である河本理事に代わり川田理事から、本事業のグラウンドテーマを「伝承と創造」とし、茗溪一人一人が主役とした意義ある記念事業としたい旨の説明がありました。また、基本的な考え方としては、多くの会員が参加できるよう推進すること、事業は令和元年から進め中心時期は令和4年とすること、経費は会員の拠金により賄い顕彰することが示されました。事業の推進は、河本委員長を総括とする「記念事業委員会」を設置して行うこととし、さらに宮尾副委員長が所管する「寄付部門」、高野

真田副委員長が所管する「記念誌部門」の3部門でそれぞれ展開し、特に2021年5月には産業人倶楽部の全国展開発表の会を開催し、2022年4月29日に記念式典を開くことを予定しているとの説明がありました。また、記念誌に関連して、各地域組織での平成の時期の動きについての資料収集への協力も呼びかけられました。

(2) 令和2年度組織委員会事業計画について

組織委員長である川田理事から、当委員会では、各地域組織等の活性化の深化を図り、茗溪・筑波産業人倶楽部の推進に努めるという2つの基本方針に加えて、休校中の学校・子どもへの支援を図るといった方針を新たに入れることを考えていると述べられました。

さらに地域組織等の活性化を進め、ブロックの代表者会議を開くなどして日本全国、そして北京・バンコクなど国際組織との連携を図ることなども計画している旨が説明されました。また、茗溪・筑波産業人倶楽部の発展拡大を目指し、茗溪創基150年記念事業の一環として、来年5月には全国大会の開催を計画していることの説明がありました。

(3) その他会員増・寄付等について

矢野理事から、今回新型コロナウイルスの影響もあって各地域組織で総会が開けないため、会費支払の機会を失うことも想定され、近年会費の納入率の低下傾向に拍車がかかることが懸念されることから、その対応策として何かご提案をい

ただきたいとお願いがありました。その対応策の一つとして、カード支払への移行なども考えられるのではないかと提案もありました。

諸連絡等

(1) 会員登録・会費納入状況等について

会員登録状況、年度別会費納入状況、各地域組織納者明細について説明がありました。

(2) 各地域組織等からの連絡文書について

地域組織等からの連絡文書について説明があり、連絡文書の様式（様式1から様式4）は、茗溪HPからダウンロードして提出願いたい、また、春秋の叙勲受章者の連絡用紙、地域組織等の組織表、地域組織等における活動は、必ず提出願いたいとの要請がありました。特に、今年度地域組織等の組織表は、7月31日までに提出願いたいということでした。

(3) 関連法人の紹介について

関連法人である筑波学都資金財団及び筑波大学生宿舎・筑波研修センター、茗溪学園中学校高等学校について、それぞれ配付資料に基づき代理での概要説明がありました。

第56回臨時理事会結果報告

総会を中断して、役員選定のための新理事会が開かれ、その結果が報告されました。

理事長には江田昌佑理事長が継続して選出され、副理事長には井口理事と阿江理事が、常務理事には、矢野理事と新たに150年記念事業の担当として川田理事がそれぞれ選定されました。また、重任理事、新任理事、重任監事、新任監事の皆さんが紹介されました。

閉会

江田理事長から閉会宣言がなされ、総会は終了しました。

総会終了後、例年の懇談会に代わり、ブロック別懇談会の内容を拡大した「小グループによる協議会」が開催されました。テーマは、茗溪創基150年記念事業の成功をめざして、茗溪・筑波産業人倶楽部など組織強化策について、会員増など財政強化策についての意見交換や、コロナ感染症の蔓延に伴い各地域組織で総会・懇親会が中止になるなどして、会費納入に支障をきたしていたりするので、その対応策などについても話し合われました。会報のweb版を出してはどうか、茗溪会の内容の名刺などを活用してはどうか、学類の同期会を活用してはどうか、クラブ活動の同窓会を活用してはどうかなどの意見が出ました。また、筑波大学生が今困っているのが茗溪として援助することで、筑波大学生のOBの会は茗溪会なのだ意識させることも大事なのではないかという意見もありました。

令和元年度決算報告

貸借対照表

令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	74,349
未収消費税	
流動資産合計	74,349
2. 固定資産	
固定性預金	315,937
建物	658,887
構築物	3,225
機械装置	1,871
什器備品	426
土地	314,776
固定資産合計	1,295,122
資産合計	1,369,471
II 負債の部	
1. 流動負債	
前受金	26,025
未払法人税	10,385
未払消費税	951
預り金	355
流動負債合計	37,715
2. 固定負債	
退職給与引当金	6,400
満期共済金引当金	20,150
保証金	1,405,000
修繕費積立金	
固定負債合計	1,431,550
負債合計	1,469,265
III 正味財産の部	
一般正味財産	△99,795
正味財産合計	△99,795
負債及び正味財産合計	1,369,471

正味財産増減計算表

平成31年4月1日から令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度
I 一般正味財産増減の部	
1 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用収益	
地代収入	64,171
建物賃貸収入	25,506
会費収入	
正会員受取会費	16,305
茗溪フェロー会費	1,911
事業収益	
委託料収入	2,635
広告料収入	3,339
寄附金	
寄附金収入	8,543
退職給付引当金取崩収入	
退職給付引当金戻入益	0
雑収益	
受取利息	19
駐車場利用収入	1,178
雑収益	1,530
経常収益計	125,136
(2) 経常費用	
事業費	
給与手当費	27,128
式典事業費	421
旅費交通費	803
負担金	235
通信運搬費	5,747
印刷製本費	3,149
水道光熱費	2,330
業務委託費	6,435
租税公課	23,192
修繕費	1,481
火災保険料	763
助成金	4,238
退職給付費用	1,544
占春園支出	8,023
管理費	
監事報酬	150
臨時雇賃金	67
退職金	0
福利厚生費	28
総会諸費	1,226
会議費	842
旅費交通費	1,491
通信運搬費	1,892
什器備品費	498
消耗品費	1,186
印刷製本費	1,594
集金費	2,368
諸謝金	681
負担金	28
会員データ管理費	2,764
渉外費	70
賃借料	780
減価償却費	34,325
租税公課	11,336
雑費	51
経常費用計	146,861
当期経常増減額	△21,725
2 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△21,725
一般正味財産期首残高	△78,070
一般正味財産期末残高	△99,795
IV 正味財産期末残高	△99,795

収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当 年 度
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
(1) 事業活動収入	
会費収入	18,215
正会員会費収入	16,305
茗溪フェロー収入	1,910
事業収益	95,651
地代収入	64,171
賃貸料収入	25,506
委託料収入	2,635
広告料収入	3,339
寄付金収入	8,543
寄付金収入	8,543
雑収入	2,727
駐車場利用収入他	1,178
受取利息収入	19
雑収入	1,530
退職給付引当金取崩収入	0
退職給付引当金取崩収入	0
事業活動収入計	125,136
(2) 事業活動支出	
事業費支出	95,280
管理費	15,714
予備費	0
事業活動支出計	110,994
事業活動収支差額	14,142

令和2年度 一般社団法人 茗溪会 事業計画

1. 事業計画のねらい

- (1) 茗溪創基150年記念事業の推進を図り、それを機に、将来を見通して、より積極的な事業展開を目指す。
- (2) 教育界と産業界（官界を含む）を二本建てとして組織化を推進する。
- (3) 地域組織等の活動の充実・活性化事業を推進する。
- (4) 新規会員の獲得・正会員の増加及び会費納入率アップのための組織的・計画的な活動を推進する。

2. 事業の目的（定款第3条）

会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図り、併せて国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力し、学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する事を目的とする。

3. 事業の内容（定款第4条）

- (1) 会員相互の親睦を図るための交流事業並びに会員の福祉を図るための共済に関する事業
 - ① 教育界各組織の活動推進
 - ② 産業界・官界各組織（「茗溪・筑波産業人倶楽部」等）の活動推進
 - ③ ホームページの充実による交流促進
 - ④ 追悼のつどいの実施
- (2) 定期刊行物その他出版物などの発行に関する事業
 - ① 季刊誌「茗溪」の発行…年4回
- (3) 研修会、講演会、公開講座等会員その他の教養向上と地域社会への貢献に資する事業
 - ① 公開講座の実施
 - ② 地域組織等主催による公開講座への助成
- (4) 学術、芸術、社会貢献、国際相互理解等の顕著な活動に対する奨学、支援、表彰などに関する事業
 - ① 学生及び同窓の諸活動への助成事業
- (5) 財産の管理・運営に関する事業
 - ① 茗溪創基150年記念事業を機とした財政の再編強化
 - ・会費の増収を図るための施策の立案と実施
 - イ 新会員の入会促進策の立案と実施
 - ロ 旧乙会員の正会員への掘り起こし策の立案と実施
 - ハ フェロー会員の固定化策と入会促進策の立案と実施
 - ② 茗溪会館の利活用を安定・向上させる事業
- (6) 教育の振興、普及活動に資する事業
 - ① 筑波大学側と地域組織等との交流
 - ② 筑波大学と協力して学生のキャリア形成
 - ③ 教職受験対策研修会の開催
- (7) 茗溪創基150年記念事業の準備・推進
- (8) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 前項の各事業は、全国において行うものとする

令和2年度予算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	R2年度予算	科 目	R2年度予算	科 目	R2年度予算
I 事業活動収支の部		(2) 事業活動支出		総会諸費支出	1,226
1. 事業活動収入		事業費支出	94,673	会議費支出	953
(1) 事業活動収入		給料手当支出	28,100	旅費交通費支出	1,700
会費収入	18,215	助成金支出	5,313	通信運搬費支出	1,620
正会員会費収入	16,305	式典費支出	439	集金費支出	2,226
フェロー収入	1,910	旅費交通費支出	950	什器備品費支出	498
事業収益	103,024	負担金支出	230	消耗品費支出	255
地代収入	71,310	通信運搬費支出	6,291	印刷製本費支出	468
建物賃貸収入	25,740	印刷製本費支出	3,301	会員データ管理費支出	2,900
委託料収入	2,635	租税公課支出	36,448	諸謝金支出	680
広告料収入	3,339	業務委託費支出	8,734	負担金支出	30
寄付金収入	100	光熱水料費支出	2,304	渉外費支出	76
寄付金収入	100	火災保険料支出	763	賃借料支出	767
雑収入	2,741	修繕費支出	1,800	雑支出	30
駐車場利用収入	1,217	管理費	13,832	予備費	0
受取利息収入	14	監事報酬	150	事業活動支出計	108,505
その他雑収入	1,510	給料手当	0	事業活動収支差額	15,575
退職給付引当金取崩	0	臨時雇賃金	201		
退職給付引当金取崩	0	退職金支出	0		
事業活動収入計	124,080	福利厚生費	52		

新役員を選任について

第9回定時総会議事（要旨）報告の通り、第3号議案によって下表に紹介する役員が選任されました。重任理事22名、新任理事2名、重任監事2名、新任監事1名がその内訳です。

理事と監事の選任の決議は、候補者ごとに挙手による採決（左の写真）で行われ、候補者全員が賛成多数により承認されました。

その後、新役員は、4階会議室に移動し、第66回理事会を開いて、引き続き江田氏に理事長を続投してもらうことが満場一致で決定し、その後、副理事長と常務理事が、理事長の指名により可決承認されました。

理事会終了後、2階大会議室に移動し、新役員を紹介をしました。右下の写真は、新常務理事となった川田氏と新理事の佐藤氏、谷出氏の挨拶の様子です。



一般社団法人 茗 溪 会 令和2年度 理事・監事名簿

No	役 職	氏 名	卒 年 科
1	理 事 長	江 田 昌 佑	S30教大体育
2	副理事長	井 口 武 雄	S40教大法政
3	副理事長	阿 江 通 良	S57筑博体育
4	常務理事	川 田 孝 一	S39教大総農
5	常務理事	矢 野 正 人	S53教修農経
6	理 事	新 井 達 郎	S56筑博化学
7	理 事	大 澤 義 明	S62筑博社工
8	理 事	河 本 武	S39教修教育
9	理 事	佐 藤 忍	S60筑博生物
10	理 事	佐 藤 順 一	S56筑大社会
11	理 事	真 田 久	S56筑修体育
12	理 事	柴 田 淳	S56筑修体育
13	理 事	高 橋 基 之	S53筑大自然
14	理 事	田 代 淳 一	S59筑修教育
15	理 事	田 中 正 造	S36教大健康
16	理 事	谷 出 直 直	H17筑修体育
17	理 事	西 川 綾 子	S58筑大農林
18	理 事	早 川 源 一	S51教大東洋
19	理 事	春 山 賢 男	S55筑大自然
20	理 事	廣 田 則 夫	S53筑大社会
21	理 事	福 岡 一 雄	S32教大法政
22	理 事	宮 尾 徹	S54筑大農林
23	理 事	百 瀬 明 宏	S55筑大人文
24	理 事	守 橋 健 二	S53筑大自然
25	監 事	飯 塚 良 成	S63慶大商学
26	監 事	小 泉 淑 子	S41教大法政
27	監 事	高 野 力	S48教大木工



前任の高野氏が監事となり、代わって川田氏が就任されました。氏は組織委員長としての実績と経験をいかし、茗溪創基150年記念事業担当の常務理事として活躍されることが期待されています。就任の挨拶では、「個々の会員が何らかの形で参加できること」を記念事業の基本姿勢として企画を推進したいと、強調していました。



理事就任の挨拶をする谷出氏（右側は佐藤氏）。谷出氏は平成年度卒業の若い理事です。佐藤、谷出両氏は、産業人倶楽部（特に、学生相手の「OB・OGキャリア・カフェ」）の主要スタッフとして企画・運営に携わっています。

茗溪創基150年

明治5年
～令和4年

記念事業について



駅伝応援記念撮影(小田原本町)

業」が高らかに歌い上げられる光景は、百年の節目を祝う祭事にも見えませんでした。

第96回箱根駅伝の支援と応援は、茗溪創基150年記念事業として実施され、多くの同窓の共感や協力を得ることができました。

例えば、第一回箱根駅伝が挙行された一九二〇年は、世界中がパンデミック(スペイン風邪)に襲われ、日本でも四〇万人前後の死者が出たといわれています。数年後には関東大震災にも見舞われています。この暗く切ない時代に、諸先輩は箱根駅伝の挙行を始めとして、果敢に行動していました。

第一回箱根駅伝開催の前年、一九一九年十二月には、「宣揚歌 桐の葉」が創られています。

その四年後の一九二三年九月に関東大震災が発生し、死者と行方不明者は十万人余を数えました。そうした状況下で、茗溪会は「社団法人茗溪共済会」を設立し、共済活動を展開しています。一九二四年のことでした。

茗溪の諸先輩方は、困難な時代にあつてこそ、意気軒高を貫き、支えあい励ましあう絆をもとに、世の中、人のためにながでできるかを考え、行動してきたと、改めてそう感じるところがあります。

この時期だからこそ、諸先輩の業績を辿ること茗溪の流れを見定め、茗溪創基150年を迎える茗溪人としてなにをなすべきか、このことを改めて考える機会として、茗溪創基150年記念事業をとらえたいと思われました。

『茗溪・筑波ファンド』設立の趣意に「私たち茗溪人は、その築かれた足跡を次の時代に伝えるとともに、新たな発展をすべき使命があります」と謳われ、「伝承と創造」をスローガンにして歩みを進めようとしています。

さて、茗溪創基150年記念事業(以下、記念事業と略記)につきましては、茗溪創基150年目にあたる令和四(二〇二二)年に向けて諸企画を進めています。新型コロナウイルス感染拡大により、計画していた事業が中止や延期、あるいは見直しとなっています。とくに「三密」が予想される事業は、中止や延期とされる中、開催方法を工夫して実施に向けて努力した事業もあります。

今年度の事業の実施状況を紹介させていただきます。

○ 学生活動支援事業

- ・ 学生団体等への活動助成(7月)
- 茗溪・筑波産業人倶楽部(7月開催)

- ・ オンラインによるOB・OGキャリアアカフェ
- 教員採用二次試験対策講座(8月開催)

- 追悼のつどい(9月開催を中止し次年度に)

- ・ 物故者名簿の作成
- 茗溪創基150年記念誌の編纂

- ・ 支部(地域組織等)の歩み

◆ 学生活動支援・顕彰事業

以下の事業を予定していますが、実施は未定です。

- (1) 団体や個人の課外活動に助成金を支給する事業で、昨年は、「筑波大学陸上競技部長距離ブロック駅伝チーム」を始めとして、20団体に支給しました。今年度は学内閉鎖が続く、学生活動が休止状態となつていました。

- (2) 在学生や卒業生の同郷人が集って情報交換やイベントを行う等の県人会の企画に対して支援を行っています。今年度は会合等の開催が困難な状況にありました。

- (3) 茗溪会賞として、専攻長の推薦により修了者を対象に、また、芸術部門として芸術専門学群、人間総合科学研究科芸術専攻の卒業・修了制作および研究に対して表彰をしています。

- (4) 卒業式後の懇親会等への援助が恒例となつていますが、今年3月の卒業式中止のため、その後の懇親会も開催されずに終わりました。今年度は開催されることを願うばかりです。

私は往路(小田原市内)で応援しました。中村伸二氏(教大農S51卒)が高校の同窓に頼んで場所を確保してくれました。通過予定時刻には茗溪会員とその家族など150余人が集まり、神奈川茗溪会の山崎紀彦副会長(教院農S53修)の音頭で宣揚歌の練習を繰り返していました。

横浜駅東口は300余人、茅ヶ崎東海岸は200余人が集まり氣勢を上げていくという連絡も入ってきました。後日、各ポイント担当からの報告を集計しますと、往・復路併せて延べ二五〇〇人ほどの応援参加者になります。

ステイックバルーンは、一〇〇〇セットを用意し、各ポイントに配布しましたが、想定外の人数が集まり、瞬く間になくなったようです。(文責 矢野)

季刊誌「茗溪」春号(P12)からの抜粋です。一月三日のことです。沿道に興奮の余熱が残っているようです。第一回箱根駅伝が金栗四三先生、野口源三郎先生らによって企画され挙行されたのは、一九二〇年二月十四日のことでした。その百年後の二〇二〇年に、筑波大学の駅伝チームが二十六年ぶりの出場を果たしたことは、快挙というほかはありません。往路復路併せて20の応援地点に多くの同窓が集結しました。紫紺の茗溪旗と水色(Future Blue)の筑波旗がはためく下で、「宣揚歌 桐の

二二の柱——教育界と産業界

茗溪会は明治15年に発足以来、学部・学科あるいは部活動等をも包括する全学同窓会として長い歴史を刻んでいます。その基は教職を共通項とする同窓意識にあったともいえます。茗溪会はこのような経緯と実績を踏まえ、創基150年を機に、教育界に加えて産業界（官界も含む）で活躍する同窓の集まりをもう一つの柱とし、両者融合協和しながら、茗溪会の一層の発展を目指し、活動を展開していこうと考えています。

◆茗溪・筑波産業人倶楽部

茗溪会本部が「茗溪・筑波産業人倶楽部」を二〇一八年七月に立ち上げて以来、学生目線の企画を模索し、試行を重ねてきました。その成果が、「OB・OGキャリアカフェ」として企画実施され、大学の就職課と連携しながら進められてきました。

二〇一九年六月、第一回「OB・OGキャリアカフェ」が、学生会館で開催されました。卒業生一名に対して、学生が少人数で交流しました。ひとりの先輩として、学生からの質問に対して、ざっくりばらん話をしてもらいうように伝えていました。本音のコミュニケーションを行うことで、参加した学生の満足度は高いものとなりました。そして、同年十一月に第二回目を開催しました。

二〇二〇年も同様に「OB・OGキャリアカフェ」の開催を計画していましたが、二月以降、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、一時は中止も検討しました。ステイホームなどで学生は社会や社会人、先輩との接点を持ちにくくなり、就職活動や自身の将来、キャリアに関する情報収集に困る状況が見えてきました。

そこで、考案されたのがオンラインによる「OB・OGキャリアカフェ」の開催でした。茗溪会としてもオンラインでの取り組みは初めてでしたが、試行錯誤しながら取り組みました。

以下、その実施について報告いたします。

オンラインによるOB・OGキャリアカフェ

このような背景があり、二〇二〇年七月、第三回「OB・OGキャリアカフェ」がオンラインで開催されました。コンセプトはこれまでと同様に、卒業生と学生が本音のコミュニケーションを行い、学生が自身の将来について考えるきっかけを作ること。また、学生生活を有意

義に過ごしてもらおうヒントを得ることです。

オンラインツールのZOOMを活用し、一時間ごとに卒業生が一人登場しました。一日当たり五時間、つまり五人の卒業生が登場する形にしました。開催日程は、七月四日～八日の五日間。土日と平日を組み合わせることで、卒業生や学生がそれぞれの都合で、参加しやすくなりました。

開催の告知をしたところ、三〇名の卒業生から参加の意思表示をいただきました。皆さんに参加いただけるよう、最終日の開催をZOOMのルームを二つ活用しました。

これまでの開催と同様に、卒業生が一人に対して、学生が五人の参加となるように企画しました。卒業生群や学生時代の取り組み、勤務企業の業界や仕事内容など卒業生の情報をHPで公開し、学生に話しを聞いてみたい卒業生への事前予約を取ったのですが、応募者多数となったこと、オンラインの特徴を活かして、五人以上参加できるように再調整して、告知・予約受付をしました。

オンライン開催となったことで、これまでの大学内で開催するのとは異なる特徴が見られました。

卒業生側の特徴としては、参加いただける方が増えました。前年の開催は、大学内での実施だったので、筑波まで来てもらう必要がありました。移動の時間がかかることや仕事の調整などが必要でした。今回は、東京以外の地域にいらっしゃる方からの参加者も増え、非常に多様な卒業生に参加してもらいました。企業の方以外に公務員の方、教員の方といったように、学生に様々なキャリアを伝えることができたのは良かったです。

学生側の特徴としては、気軽に参加ができるようになり、参加学生数が急増しました。パソコンやスマホがあればどこからでもアクセスができます。また授業の合間や、ちょっとした隙間時間からでもアクセスできます。卒業生も学生も服装は普段着。そのため肩肘張ることなく、リラックスして、交流がなされていました。

参加学年としては、これから就職活動を始めることになる、大学三年生や大学院一年生が多く参加してくれました。次に多かったのは、大学一年生でした。大学入学後、授業がオンライン化され、学生生活および、大学卒業後について興味関心が高くなっていることが想像されます。

大学生活をする中で社会を知り、仕事や働き方を知る機会ができたことは今後の大学生活にも大きな影響になると感じます。

と感じます。

五日間で卒業生が三〇名、学生が一五二名参加してくれました。学生一名当たり、二・四名の卒業生の話を聞いてくれました。

学生の参加者満足度は九四％。ほぼ全員が次回も参加したいと回答しています。最後に参加学生の感想をご紹介します。

- 個人的に就活というと、腰が重くて、不安と恐怖しかなかったのですが、OB・OGの先輩方のお話を聞いて、かなり前向きになりました。社会人によって、話す内容や雰囲気があるで異なっていて、お人柄や社風なのかなと：非常に楽しかったです。
- 筑波大っていうだけでこんなお言葉を頂けるのかと、胸が熱くなりました。得た情報そして出会いを、必ず、次に生かしたいと思います。
- 二回参加したのですが、どちらも新しい学びがありました。大学OB・OGということで他の説明会やOB・OG訪問よりも突っ込んだ質問もしやすかった点、一回一時間で前回の質問会よりも多くのことが聞けた点、様々な経歴の方のお話が聞けた点など、とても良かったです！
- キャリアカフェには何度か参加させていただき、その都度OB・OGの皆様の様々なお話を聞ける貴重な経験になりました。
- 大学に入学し、将来の方向性に悩んでいた中、実際にOB・OGの方がどのように進路を選択されたかわかり、とても参考になりました。

卒業生の皆さん。ぜひ、ご自身の大学時代や社会人の経験・体験を現役の学生に伝えてください。学生が待っています。また、学生に伝える中で、改めて自分自身や働くこと、仕事、キャリアについて振り返る機会にもなります。同窓生の取り組みや活躍にも刺激を受けます。次回、第四回目は二〇二〇年十一月オンライン開催を予定しています。ご興味ありましたら茗溪会までご連絡ください。詳細が決まりましたらご案内します。

※この取り組みが、ダイヤモンドオンラインで記事になりました。「筑波大学 キャリアカフェ ダイヤモンドオンライン」で検索いただくと記事が見れますので、ぜひ、ご覧ください。

◆第2回教職2次試験対策研修会

これまで、教育現場では、先輩、後輩や同期の、いわば縦と横の絆が強固としてあり、互いに叱咤激励、切磋琢磨しあう気風のもとに、わが国の教育界をリードしてきました。この伝統ある実績をもって、今後とも有為な教員を育て支援する体勢を維持する必要があります。

茗溪会では、具体的な事業として、これまでの教職課程研修会に加えて、教職2次試験対策研修会を本格実施しています。教職受験者の大半を占める神奈川、東京、千葉、埼玉、東京の各茗溪会が協力して、同じ時期に同じ会場で指導助言をする合同開催方式をとってきました。今年度は、会場を筑波大学学生会館、茗溪会館で、その自治体が課す個人面談、集団討論、小論文などをプログラムとして実施しました。詳細は次のとおりです。

今年度の教職2次試験対策研修会は、原則として1次試験を合格した学生・修了生を対象にして8月8日、9日、10日の3日で実施しました。その準備として、各自自治体の受験科目が定まる4月に募集要項を茗溪会のホームページに掲載するとともに大学にも依頼して開催の準備を整えました。

今年度はコロナウイルスの影響で大学の授業が8月7日まで行われたことから、茨城県、千葉県向けの研修を8月8日、9日に筑波大学学生会館で、神奈川県、東京都、埼玉県向けの研修を8月9日、10日に茗溪会館で、コロナウイルスの対策を整えて実施しました。参加した応募者は、卒業生（教



員）2名、大学院13名、学生13名でしたが学外からの応募はありませんでした。希望自治体は、山形県1名、福島県1名、栃木県1名、茨城県11名、埼玉県2名、千葉県3名、東京都5名、神奈川県3名、静岡県1名（うち重複参加1名）と多岐にわたり、昨年の第1回研修会の参加者18名に比べて大幅に増加しました。なお、参加28名のうち、25名が茗溪会員になっています。

筑波大学学生会館では、茨城県向けは8月8日は6名の参加があり、参加者は開始時刻の10時まで受付に試験対応を考えたきちんとした身なりで集まり全員登録を済ませました。教職研修部会の委員でもある武井先生が講師になり、午前中は自己紹介に続いて集団討論、午後は小論文の指導と個人面接を実施しました。集団討論は、講師の先生が課題を示し司会なしで意見を交換しあい最後に講師の先生が講評する形で進められましたが、意見の出し方などが得がたい体験になったという感想がありました。個人面談は、入室から退室まで他の参加者が見守る中で行われ、他の参加者の話し方やしくさなどが大変参考になったようでした。小論文の指導は、武井先生から、小論文の書き方について説明があり、参加者は茨城県の過去の課題について5分800字で書き、武井秀一先生がそれを添削し参加者に郵送しました。8月9日は茨城県向けは9名の参加者があり、青砥武夫先生が講師となって前日と同様のスケジュールで行われました。千葉県向けは3名の参加者



があり、百瀬明宏先生（本会理事千葉茗溪会会長）を講師として、午前中は個人面接を行い、午後に模擬授業を行いました。両者とも他の参加者の評価をすることでの自分の経験が豊かになったとの感想がありました。

茗溪会館では、8月9日に神奈川県と埼玉県向けにそれぞれ3名、2名の参加者で矢野正人先生（本会常務理事）、春山賢男先生（本会理事）を講師として、午前中は合同で集団討論と個人面談を、午後は神奈川県向けに個人面談と模擬授業を、埼玉県向けに小論文指導を行いました。多くの参加者は集団討論の体験がなく、この研修で具体的なイメージを把握できたと思われます。

東京都向けの研修は8月9日に参加者6名、高橋基之先生（本会理事・東京茗溪会会長）、徳田安伸先生（東京茗溪会事務局長）を講師として、午前は個人面接、午後は集団討論と2回目の個人面接を行いました。

講師の先生方からは、挨拶や講評のときなどに「各自自治体はこれから教育を担う人材を求めており、2次試験を受ける筑波大生には特に期待が大きい」というような激励の言葉がありました。受講生からは、2次試験までとにかく頑張りたいという感想が多くありました。大多数の受講生が会員になったことから、今後とも彼らを見守り育てていきたいと思えます。



◆追悼のつどい

「追悼のつどい」では、過去一年間に逝去された会員のご遺族が一堂に会し、故人のご遺徳を偲び、ご遺族のご繁栄を祈念いたします。



▲2019年度追悼のつどいで追悼の辞を読み上げる江田理事長

昨年は、例年行われている「追悼のつどい」を記念事業として実施し、学生が参列する機会を初めて設けました。

今年度も昨年同様の企画を実施する予定でしたが、「三密」の解消ができません。残念ながら、残念ながら中止とし、来年度、今年度分と合わせて実施することとしました。



◀矢野常務理事と追悼のつどいに参加した学生

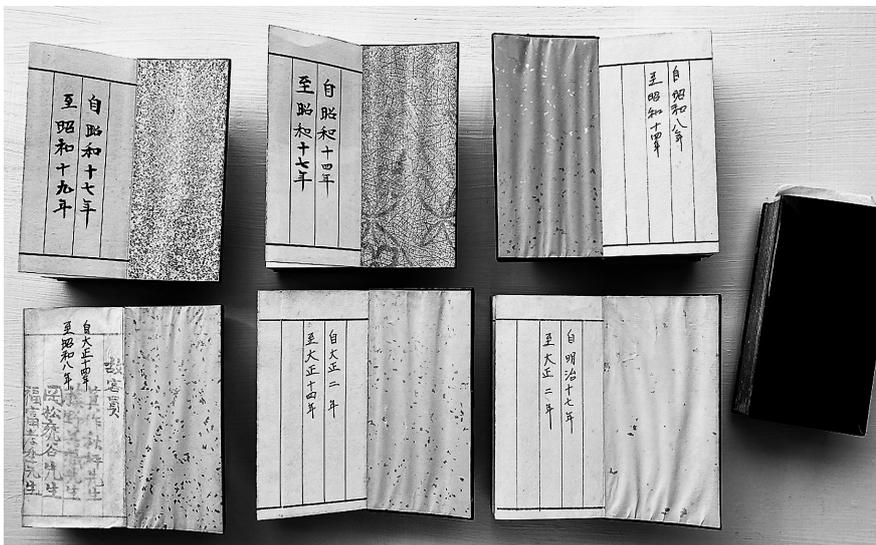
物故者名簿の整理

茗溪会では逝去された会員のご遺族からご連絡をいただき、お名前、逝去年・月を記載した物故者名簿を作成しています。

明治十七年から平成十七年までの逝去会員のお名前は、筆で記し、箱に収めてあります。

記念事業として、平成十八年以降の名簿をデータ化し、印刷・製本する予定です。

追悼のつどいにおいて過去一年間の逝去会員のご遺影を掲げるとともに、明治十七年から約一万六千名のお名前を記載した名簿を供え、献花を行い、諸先輩方のご遺徳を偲びます。



明治17年から昭和19年までの物故者名簿

◆茗溪創基150年記念誌の編纂

記念事業のテーマとして、「伝承と創造―その実現を目指して」が掲げられています。

『茗溪創基150年記念誌(仮称)』の編纂は、諸先輩の事績を辿ることで茗溪の流れを見定め、茗溪創基150年を迎える茗溪人としてなにをなすべきか、このことを改めて考えるための道標を提供する作業ともいえます。

真田久編纂委員(本部理事、筑波大学教授)を中心に、編纂作業が進められようとしています。

以下、装丁や目次等の概略を紹介し、進捗状況をお知らせいたします。

- (1) 装丁(予定) B5判 全体で600〜650頁
- (2) 方針 「百年史」以降を中心に編纂する。
- (3) 目次(予定)

第一章 師範学校〜高等師範学校	30頁
第二章 東京高等師範学校〜東京文理科大学	30頁
第三章 筑波大学	40頁
第四章 支部(地域組織等)の歩み	150頁
第五章 筑波大学	200頁
第六章 茗溪会と社会	100頁
第七章 資料	30頁

- (4) 特別企画(案)
- ・「茗溪会の先達の足跡をたたえる」など検討中。

以上が記念誌の構成の概略です。

現在、第五章「各地域組織等の歩みとその発展に尽くした人々(平成のレビュー)」の編集作業に入るところです。原稿につきましては、昨年の定時総会で各地域に執筆依頼をしましたが、各地区のご協力を得て、すでに全地域から原稿をいただいています。

作業にあたりましては、例えば、「です」「である」調、敬称の有無、学部学科、学類等の表記、卒年表記など、ある程度の統一感を持たせるための検討と調整作業から始め、ページ数の調整の相談、写真や資料提供の依頼などを各地域とやりとりさせていただきまします。メールや電話によると思いますが、ご協力をお願いいたします。

茗溪創基150年記念事業の成功に向けて

カードを同封させていただきました。裏面に茗溪創基150年記念ロゴ、茗溪会の主な活動内容、連絡先やホームページ閲覧のためのQRコードを掲載しています。ご自由にご使用ください。

- ・カードが複数枚必要な方は、お申し付けください。
- ・カードの使い方や改善、あるいは内容追加があればご提案ください。

◆身近な方を会員にお誘い願っています

茗溪会は、年会費を原資として同窓会活動を展開しています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、厳しい収支に追い込まれることが予想されます。

この状態は、ますます厳しくなり、しばらく続くと思われま

また、各地域の会合が中止に追い込まれています。会合への参加がきっかけで茗溪会に加入する、名目だけの会員だった方が年会費を納め始める、こういう光景が多々ありますが、今年はその機会が失われることになりそうです。

左に、資料(注)を掲載させていただきました。

昨年の年会費納入者は3千人ほどです。例えば、この季刊誌「茗溪」(年四回の発行)の印刷・製本と郵送費と同額となります。つまり、この状態で推移すると、従前の活動ができなくなると、危惧されます。

現在の総会員数は五万五千人ほどですが、開学五〇年を迎える筑波大学のOB・OGだけでも十五万人となります。まだまだ余地はあります。同封のカードを「勧誘カード」としてご利用いただき、茗溪会へのお誘いをぜひお願いいたします。また、新たな会員だけでなく、会費を納入されていない会員の方々にもお声かけ願います。

(注)この資料は、過去10年間の定時総会で提出された「会員登録状況」と「年度別 会費納入状況」をもとに作成したものです。

◆年会費のカード払い(カード自動引き落とし)をお願いいたします

上記の資料から興味深い事実が見えてきます。

(1)総会員は増加しているが、会費納入者は激減している。したがって、会費納入率Bは、十年前に比べて1/3ほどとなっている。

(2)正会員(過去3年間に会費を納入したことのある会員、いわゆる「甲会員」)の会費納入率Aが、十年前に比べて半減している。

正会員が減少していることは深刻といえますが、もっと深刻なことは、正会員が年会費を納入しなくなっている傾向が続いているということです。

原因は多々あるかと思えます。

十年以上前は、各地域の会合の受付で、参加費とともに年会費を支払う光景がみられました。あるいは、職場ごとに担当がいて集金して回るといった慣例をもつ地域もありました。当時は、地域独自の集金システムが機能していたように思えます。そのシステムが時代の変化とともに変更を余儀なくされているのかもしれない。

茗溪会は、地域組織等の活性を期待すると同時に、同窓への支援や諸活動を十全に展開するために、財政の増強を目指さなければなりません。会員の皆様に年会費の納入を促すことは大事な行動ですが、同時に、年会費の納入をしやすくする方法を提案すること、納入のきっかけを提供することも大事な行動と思います。

茗溪のきずな

茗溪創基150年記念事業の成功に向けて
★身近な方を会員にお誘い願っています
★年会費のカード払いをお願いします

筑波大学同窓会

茗溪会

茗溪会は明治5(1872)年の師範学校創立以来、茗溪の流れを汲む同窓会組織です



学生サポート活動
【キャリアサポート】
☆OB・OG キャリアカフェ
☆教職講座の開催
☆教員採用2次試験対策講座
【課外活動サポート】
☆学生活動支援(助成金補助)

同窓の交流活動
【交流会】
☆各地域での総会・懇親会
☆茗溪・筑波産業人倶楽部
☆各地域で企画される交流会
【講演会】
☆本部主催の講演会
☆各地域で企画される講演会



茗溪会を知りたい方
入会を希望される方
こちらから

■大塚事務所
東京都文京区大塚 1-5-23
TEL 03-3941-0136
メール info@meikei.or.jp

■筑波事務所(大学会館内)
TEL 029-850-1044
メール tsu3jimu@meikei.or.jp

世代・地域を越えた同窓のつながりを!

過去10年間の会員数の推移と年会費納入状況

年度	納入率A b/a	納入率B a/c	納入者数 a	正会員数 b	納入義務者数 c	総会員数 d
R1	18.3%	6.8%	3,162	17,248	46,299	55,586
H30	28.4%	10.5%	4,871	17,129	46,295	55,630
H29	21.3%	9.0%	4,185	19,603	46,253	55,499
H28	25.1%	10.7%	4,922	19,611	46,036	55,685
H27	26.8%	11.6%	5,334	19,901	45,857	55,517
H26	26.9%	12.3%	5,523	20,520	44,990	54,630
H25	29.3%	13.8%	6,158	21,022	44,753	54,442
H24	35.6%	17.5%	7,732	21,708	44,298	53,904
H23	37.4%	18.1%	7,826	20,942	43,323	52,852
H22	37.2%	18.8%	8,169	21,968	43,556	53,070

i 総会員数 = 納入義務者数(正会員数 + その他会員数) + 完納者数

ii 納入率A = 納入者数 a / 正会員数 b

iii 納入率B = 納入者数 a / 納入義務者数 c

★年会費のカード払い（カード自動引き落とし）

年会費の納入方法として、三つの方法がございます。会員の多くの方は、季刊誌に同封された「払い込み用紙」を使用しての納入かと思えます。郵便局窓口まで出向かなければならないという面倒があります。

次に、ご自身の銀行口座からゆうちょ銀行（茗溪会口座）へ、毎回、ネットで払い込む方法もあります。わざわざ銀行に足を運ぶ必要はなく、時節柄有効とは思いますが、毎回、送金のための操作が必要ですし、別途手数料もかかる場合もあります。

第三の方法として、カード払い（カード自動引き落とし）による年会費の納入をお考えいただきたく思います。手数料不要ですし、登録していただければ、その後、自動で引き落としとなります。

会費納入のために外出することにも用心しなければなりません。時節柄です。以下に、紹介させていただきますが、同封の申込用紙をご利用いただき、お手続きを進めいただけますよう、お願い申し上げます。できるだけお手持ちのカードをご利用できるように、種類を用意させていただきます。

フェロー（年会費完納者）の方々も、同様の手続きをお取りいただいでカード自動引き落としができます。

カード自動引き落としの手続きを新規にしていた方には、以下の優待をさせていただきます。

【優待】

茗溪創基一五〇年記念事業期間中に、新規手続きをされた方には、手続き終了時に、茗溪会デザインのクオカード（一〇〇〇円分）を送付させていただきます。年会費還元とさせていただきます。



茗溪クオカード

★年会費の払込方法

1. クレジットカードによる自動引き落としの場合

年会費クレジットカード支払依頼書にご記入の上、茗溪会事務局まで郵送してください。



ご利用いただけるカード

2. 季刊誌「茗溪」に同封の払込用紙・払込票をご利用になる場合

コンビニ、郵便局ATM、郵便局窓口でお支払いください。払込手数料は無料です。

3. ネットバンキング、銀行からお振り込みの場合

払込人の会員番号をご入力いただき、以下の口座までお振り込みください。

銀行名 ゆうちょ銀行 金融機関コード9900 店番 019
店名 〇一九（ゼロイチキュウ店） 預金種目（当座） 番号 0004977
受取人名 イッパンシャヤダンホウジン メイケイカイ（一般社団法人 茗溪会）
※通信欄又は送付者名欄に会員番号等を必ず書き添えて下さい。

令和 年 月 日

一般社団法人 茗溪会 御中

年会費のクレジットカード支払依頼書

◆私は、茗溪会の規約に基づく年会費を、下記クレジットカードを利用し、クレジットカード発行会社が定める会員規約に基づいて支払いすることを申し込みます。

ふりがな	
カード会員名	(カードご契約者ご本人のご署名)
カード種類	<input type="checkbox"/> VISA <input type="checkbox"/> JCB <input type="checkbox"/> Diners <input type="checkbox"/> Master <input type="checkbox"/> AMEX (ごチェックしてください)
カード番号	□□□□ □□□□ □□□□ □□□□
カード有効期限	20 年 月 (YYMM)

<茗溪会 会員名>

お名前	(会員様ご本人がカード名義と同書体でご署名ください)
ご連絡先	〒
電話番号	()
E-mailアドレス	

○お問い合わせは、下記連絡先欄をお願いします。

<使用可能クレジットカード> 〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 一般社団法人茗溪会
TEL: 03 (3941) 0136 (F)
FAX: 03 (3941) 7074



①



②



③



④



⑤

ご利用いただけるカード (①～⑤はカードの名称とロゴです)

- ①三井住友カード VISA (SMBC)
- ②マスターカード
- ③ダイナークラブカード
- ④アメリカンエクスプレスクード (略称 Amex)
- ⑤ジェーシービーカード

日本発唯一の国際ブランドといえます。

*混合型もあります。例) ANA VISA Suica→



★年会費のクレジットカード支払い依頼書

季刊誌「茗溪」夏・秋合併号に、「年会費のクレジットカード支払い依頼書」(左上に掲載)を同封させていただきます。使用可能なクレジットカードをご確認いただき、お申込み下さいますようお願いいたします。

お申込用紙は、同封の返信用封筒に入れて、ご送付ください。

筑波大学は今

台湾国立成功大学主催のCOVID-19 オンラインフォーラムに永田学長が参加

4月21日、永田恭介学長が台湾国立成功大学主催、台湾の Ministry of Education (MOE) および Ministry of Science and Technology (MOST)、Presidents' Forum of Southeast and South Asia and Taiwan Universities (SATU Presidents' Forum) 共催によるオンラインフォーラム「2020 NCKU International Virtual Forum on COVID-19」に参加しました。



世界10カ国の大学、研究機関の代表、政府関係者、医療関係者がオンラインで集まり、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）への対応策について意見交換が行われました。

「新型コロナウイルス感染症に伴う 東南アジア教育大臣機構の対応」について

東南アジア教育大臣機構事務局 (SEAMEO Secretariat) 主催の「新型コロナウイルス感染症に伴う東南アジア教育大臣機構の対応」の一環で「Learning and Mobility in Lockdown」と題して5月7日に開催されたウェブセミナーにおいて、野村名可男准教授（国際室東南アジア・台湾地域責任者、グローバル・コモンズ機構国際交流支援部門長）が新型コロナウイルス感染症拡大に対する本学を含む日本の高等教育機関の対応、学生支援制度などについて口頭発表を行いました。

本学は、日本唯一のSEAMEOアフィリエイトメンバーです。

今回のウェブセミナーは約6,000名の東南アジア地域の高等教育関係者がリアルタイムで視聴し、インターネットを介した活発な議論が展開されました。

令和2年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 彰を本学研究者8名が受賞

令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞」及び「若手科学者賞」を本学の研究者8名が受賞しました。

科学技術分野の文部科学大臣表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として行われているものです。

多様な研究力で新型コロナウイルス危機に臨む！ 大学「知」活用支援プログラム始動

世界規模での新型コロナウイルス流行によって生命の危機にさらされるのみならず、従来の社会システムの変革による対応を余儀なくされるなど、これまで我々が想定していなかった多様な問題が浮き彫りとなっています。本学の研究力を発揮しこれら地球規模課題の解決に貢献するため「新型コロナウイルス緊急対策のための大学

「知」活用プログラム」を実施。公募期間約2週間にもかかわらず幅広い分野の研究者（ウイルス学、医学・生物学、数理科学、情報学、教育学、社会心理学、社会政策学、経済学、芸術学、体育学等）から69件の応募が寄せられました。審査の結果、5月25日、27件の研究プロジェクトの開始を決定しました。

プログラムでは、本学の多様な「知」の総動員で新型コロナウイルス危機に立ち向かい、その成果をいち早く社会に伝えることを目指します。

プログラムの設計・公募の実施はURA研究戦略推進室が行い、今後は研究者の研究成果の広報をサポートします。

また、各研究者が本プログラムで行う研究を「助走」と位置づけ、さらに大きな研究プロジェクトへと発展させ、新型コロナウイルス危機の対策への寄与を進められるよう、大学一丸となって研究者支援を行います。

Peer Garden

交流広場
茗溪創基150年記念事業

同じ大学を卒業したということだけでは、
つながりを強く感じられないと思います
ふたつ目の理由が必要かと思うのですが
それが「茗溪」なんじゃないですか？
ある学生の発言より

●学部、学群等の同窓組織、会合、諸活動

NO	同窓組織、会合、諸活動	開催年月日	開催場所	参加数	掲載号
88	茗溪24年理二の会	2010/10/06	サンライズ九十九里	11	1068
89	駒場林学会(農教専、教育大、筑波大の林学、木工専攻の同窓会)	2010/07/03	茗溪会館	40	1068
90	東京教育大学文学部国語・国文学科(s29卒)	2010/11/22	つきぢ 田村	12	1069
91	東京文理科大学心理学科クラス会(s28卒)	2010/12/01	三越本店 など万	5	1069
92	果水会(東教大農学部農村経済学科(s30卒))	2011/04/14	伊郡市 羽広荘	9	1070
93	東京高等師範文四会(s26卒)『水涸れず』の集い	2011/04/22	茗溪会館 占春の間	11	1070
94	東京教育大学文学部言語学専攻同期会(s35卒)	2011/09/07	青森県	4	1071
95	東京教育大学文学部倫理学専攻クラス会(s35卒)	2011/06/19	第一ホテル両国	7	1071
96	東京教育大学動物・植物学科合同クラス会(s30卒)	2011/09/16	深大寺 嶋田家	14	1071
97	駒場筑波農業土木同窓会	2011/07/02	ホテルローズガーデン新宿	50	1071
98	東京教育大学教育学部教育学科クラス会(s33入学)	2011/10/20	草津 中沢ヴィレッジ	11	1072
99	東京教育大学漢文学入学クラス会(s39入学)	2011/10/22	茗溪会館	10	1072
100	東京教育大学文学部史学科東洋史専攻同期会(s37卒)	2011/10/23	ホテル鎌倉mori	8	1072
101	東京教育大学教育学部特殊教育学科9回生クラス会(s38卒)	2011/10/12	長野県上田	12	1072
102	東京教育大農学部農学科卒(s36卒) 駒場9期会	2011/11/04	茗溪会館	20	1073
103	昭和23年入学「文一の会」(東京高師文一(s27卒))	2011/10/29	熱海後楽園ホテル	15	1073
104	東京教育大学農学部農学科クラス会(s44卒)	2011/11/19	長野県安曇野市有明温泉	16	1073
105	東京教育大学理学部化学科クラス会(s33入学とs37卒業)	2011/10/05	筑波大学文京キャンパス 茗溪会館	17	1073
106	一啼会(文理大教育学科(s28卒))	2012/03/26	茗溪会館	6	1074
107	東京教育大学教育学部1期生クラス会	2012/04/17	銀座四丁目スエヒロ新宿店	9	1074
108	東京教育大学法政クラス会(s30卒)	2012/04/04	茗溪会館	6	1074
109	東京教育大学理学部生物学科植物学専攻(s41卒)	2012/05/13	帝国ホテル ラ・ブラスリー	9	1074
110	東京教育大学理学部動物学専攻クラス会(s28卒)	2012/05/17	筑波大学文京キャンパス	6	1074
111	東京高等師範一(s26卒) W204東京の集い	2012/05/23	東京ガーデンパレス 茗溪会館	28	1074
112	文部省図書館員養成所(s38卒)	2012/11/04	上野 パークサイドホテル	33	1076
113	むげん会(東教大理学部数学科(s37卒))	2012/10/13	茗溪会館	20	1076
114	東京教育大学漢文学クラス会(s39入学)	2012/09/22	豆富料理「笹乃雪」	12	1076
115	東京教育大学体育学部幡ヶ谷寮入寮者の同窓会(s44入学)	2012/08/25	中伊豆 ホテルワイナリーヒル	16	1076
116	東京教育大学動物学専攻クラス会(s37卒)	2012/11/05	下田東急ホテル	10	1076
117	東教大体31会(東京教育大学体育学部(s31卒))	2012/10/09	名古屋学院大学瀬戸キャンパス	15	1076
118	東京教育大学体育学部同窓会(s28卒)	2013/05/11	銀座 黎花	16	1078

* 今回も、季刊誌『茗溪』(1061-1100号、平成20-30年)の「桐の葉のつどい」などに掲載されたものを一覧にしています。
* 季刊誌掲載号の順に紹介させていただきました。



No. 89



No. 103



No. 110



No. 115

ピアガーデンのひろがり

茗溪創基150年記念事業として、季刊誌『茗溪』誌上で同窓の交流を図る企画が今年の「正月号」に始まり、「春号」に続いて、今回「夏・秋合併号」で第3集となります。

単に「同じ大学を卒業したということ」だけではなく、ふたつ目のつながりとして、情報を交換しあい、活用しあい、支えあい、刺激しあう、そういった交流を深め広めてきた。これが「茗溪の絆」であったはずで、す。茗溪創基150年を迎えるにあたり、そのことを改めて思い返し、今後とも茗溪を縁にしていだきたく、この企画を進めております。

さて、今回は、「学類・学部等の交流」を紹介いたします。

今回紹介の中で、幡ヶ谷寮入寮者の同窓会(No.115)が、興味を引きました。とくに筑波在学時は寮が基本でしょうから、学類を超えた寮単位の同窓会もあるのかもしれない。ご紹介いただきたく思いますし、そのような会合があってもいいかと思えました。

また、茗溪会館で会合を持たれる方も多く見受けられます。茗溪会員は割引がございませす。ご利用の際は、その旨を「嘉ノ雅 茗溪館(かのび めいけいかん)」にお申し出ください。
☎ 03-5319-11890(予約)

* 前号で「ぐるなび」の番号を紹介してしまいました。改めて、嘉ノ雅茗溪館の電話番号を紹介させていただきます。

誌上交流の試み

新たな試みの紹介です。
ぜひご覧いただき、
ご活用いただければと
願います。

ひと昔前は、ビアホールやビアガーデンが盛んで、仕事帰りに同窓と待ち合わせて、「やあー」に始まり、愚痴をこぼしたり励ましあったり、仕事上で助けあったり、新規の事業や同好の会をとともに立ち上げたり、そういったきっかけとなる場でもありました。たぶん、限られた個々の場面では、そういったつぎあいが健在かと思えます。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各地域（支部）の総会や懇親会が軒並み中止となっています。同様に、右に紹介した学部や部活動等の同窓の会合も中止となっているのではないのでしょうか。「今年も同窓と会える」という機会が失われそうです。こうした恒例の会合を通じた絆の深まりや広がりや、途切れてしまうのは誠に残念です。

しかし、こういう時期だからこそ、小規模で気軽に会える場を積極的に持ち合うことも大切に思えます。また、実際には会えないままでも、この誌上を通じて交流を確

認し、広めていただければと思います。

以前から会員の方から会員同士の交流の場を設けてほしいという要望がございました。

新型コロナウイルス感染拡大の現況下で苦境に立つ同窓もいるはず。このような時期だからこそ、そつを深く広く、より強くして助け合う場面があつていいかと思ひ、『Peer Garden 誌上交流』を新設することにしました。

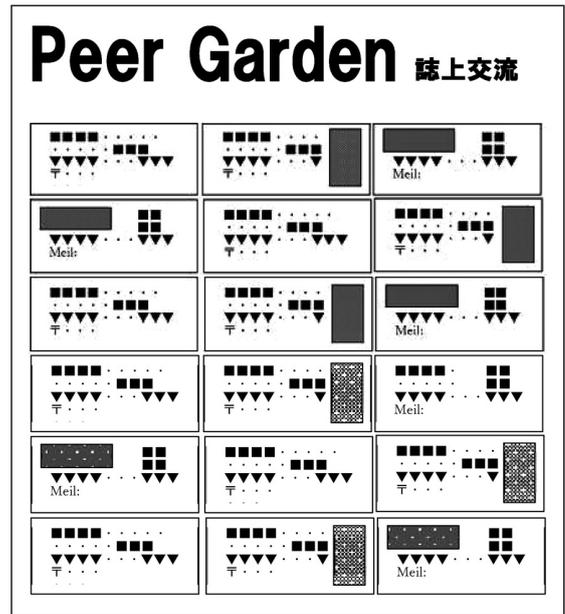
このコーナーでは、国内外の同窓の会合や諸活動等の案内、同窓が経営する企業や運営する事業等の案内、展覧会など催し物の案内、各方面で活躍する同窓の紹介、あるいは求職・求人のお知らせなど、同窓に伝えたいとお願ひしたいことを募集します。以下の募集要項を参照の上、どうぞご応募下さい。

このコーナーでは、今後とも、多種多様な情報を発信していく予定です。様々な活動の企画・運営や新規立ち上げのヒントに加え、合同開催などの橋渡しの場として活用いただいたり、定年後の新たな活躍の場や培った技能や能力を活かす場やそういった人材を求めあうなど、様々な活用の仕方があるかと思ひます。

会員の皆様で作りに上げていくコーナーとお考え下さい。

（組織委員会調査担当）

誌上交流(正月号)イメージ図



募集要項

- 誌上交流への掲載料は、5,000円とさせていただきます。
*今回の誌上交流は試行ですので、無料（正月掲載分に限る）とさせていただきます。
- 季刊誌「茗溪」の誌上交流ですから、即効性はありません。次回の発行は正月号です。その点を承知の上ご応募下さい。
- 誌上交流の広告は右のようなイメージとなります。規格（縦4cm、横6cm）に収まる情報量でお願いいたします。なお、広告はご自身で作成の上、PDFで添付送信願ひます。文字の大きさや内容構成に制約はございません。送信先は、E-mail address : peer@meikei.or.jpです。
- 誌上交流の広告内容は以下の内容とさせていただきます。
 - 同窓の会合へのお誘い
 - 同窓が経営する企業等の紹介
 - 同窓が開業する商店・医院・各種事務所等の紹介
 - 同窓が運営する事業等の紹介
 - 同窓の講演会・展覧会・演奏会等の紹介
 - 同窓が主催する教室（稽古場）等の紹介
 - 同窓による求人、求職
 - 共同起業者の募集
 - 事業等の共同運営者の募集
 - その他
- 事務局は、原則として、仲介はいたしませんので、広告内に連絡先や連絡方法を明記願ひます。
- 広告主への問い合わせや、広告主との交渉・交流につきましては、個々の責任で直接願ひいたします。

【前頁掲載の一覧について】

- *今回紹介させていただいた以外に、同窓組織や会合、活動等をご存じでしたら、以下にお知らせ下さい。
E-mail address : peer@meikei.or.jp
- *ご紹介事項が不正確であったり、追記を要する箇所があるかと思ひます。修正させていただきますのでご指摘ください。
- *また、組織や会合や諸活動などが連絡を取り合って、運営のヒントにしたり、共同開催もあるかもしれません。
その連絡の場として上記アドレスをご活用ください。

◆筑波大学 農林学類10期生同窓会

と き 2020年2月1日(土)

と ころ 筑波大学第2小食堂

2年前の卒業30周年の同窓会と同様、第2食堂で開催しました。クラス担任を担当していただいた2名の先生もご出席くださり、昔話や近況報告などで大いに盛り上がりました。話は尽きることなく、多くの方が2次、3次会にも参加されました。次回の開催時期も決め、散会しました。



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せください。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれで撮影したもので構いません。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても構いません。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31文字×5行以内でお願い致します。



著書紹介

『鴻池幸武文楽批評集成』

著 者…多田 英俊(55年筑一人文)

本の大きさ…A5判 472ページ 上製

発 行 所…大阪大学出版会

発行年月日…2019年2月28日

昭和10年代に活躍した文楽研究者、鴻池幸武の文楽評を集大成した一冊。「風」を絶対視し豊沢国平を核とした文楽・浄瑠璃義太夫節研究の足跡をたどりつつ、あらためてその現代的意義を検討する。読売新聞関西版などの新資料を含む55篇の文楽評に、初出の自筆書入本など周辺資料を併載。フィリピンで戦死して七十余年、「日本は一人の天才を失った」と盟友武智鉄二に言わせた、夭折の批評家鴻池幸武の全貌を明らかにする。(著者)

世に鉄道ファンという存在がある。自動車好きもまた多い。乗り物というカテゴリーで一括できそうだが、実は対極にある。…中略…

鴻池幸武が鉄道好きであったことは、「中村章景の思い出」からも読み取れるが、鴻池の文楽批評を読み進めていく中でも、確かに納得できるものである。すなわち、浄瑠璃の「風」を文楽の芸術的価値の根本に置き、人形浄瑠璃文楽における具体的な三業の成果を、一切妥協せず厳格かつ痛烈に批評する姿勢に、それは見て取れる。鴻池にとって、「風」という路線にないものは浄瑠璃義太夫節ではなく、「風」を体



現するからこそ浄瑠璃義太夫節は芸術なのであった。「あしがき」より

茗溪学園だより

ウィズコロナの学校活動報告

本校では、3月1日から休校とし、卒業式のみ当初の予定通り3月16日に参列者を限定して挙行しました。4月以降は、緊急事態宣言が発せられ引き続き休校を続けてきましたが、6月15日にやっと開校することができました。

休校期間中、4月中旬から全学年でオンライン授業を始めました。オンラインでの授業開始を少しでも早くしようと、教職員みんなで1500人を超える全校生徒分の教科書を配送するための荷造り作業をしました。まだ1日も登校していない新入生も含めて、比較的早い段階でオンライン授業が開始できたと思っています。また、この後休校を余儀なくされることがいつ起こるか分からないこともあり、オンライン授業対応の学習環境整備も大至急で行いました。



中学1年生の学年集会。集会は全校集会、学年集会共に教室内のスクリーンに映像を映して行われているが、中学1年生の最初の集会だけは、体育館でソーシャルディスタンスをとって行われた。

開校第1週は、久しぶりの登校でもあり、感染防止対策を整えるために、学校生活において配慮すべきことを確認する期間とし、翌週は2か月間のオンライン授業の成果をチェックする確認テスト期間としました。

始業時刻を30分ほど遅らせて、登校時に交通機関の混雑する時間帯を避けられるよう日課を変更し、1日6時限（土曜4時限）の授業としま

した。授業日数確保のため夏休みは8月1日からとし、8月24日には授業再開としました。

体験的な学習機会を、数多くの行事の中に組み込んでいるのが本校の特色ですが、今年度は中止となる行事が相次ぎ、非常に残念に思っています。それでも、いくつかの活動については、実施できるよう工夫しているところです。

入学式を挙行

開校直後の6月20日、令和2年度第42回入学式を挙行しました。入学者は、中学228名、高校49名でした。

「密」を避け、参列者を限定して行いました。梅雨の時期、天候が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ入学式にふさわしい明るい日となりました。服装も夏服用で4月に行う式とは異なる雰囲気がありました。式次第は、例年通りに行いましたが、在校生による歓迎演奏や合唱を披露できなかったことは残念なところでした。



新入生入場：保護者席の間を通過して入場。保護者に顔が見えるよう入場時のみマスクをはずした。

なお、高校1年は、本校中学からの内部進学者に49名が加わり、309名となりました。この学年は中学時より多い学年でしたが、上の学年から留学を終えてこの学年に復学する生徒が例年になく多く（11名）、高校入学者も海外からの帰国生が多かったことから、定員を超える人数となっていました。急遽1学級増やし8学級編成となりました。

23年ぶり 寮生200名に

昭和54年の開校時、寮生は180名ほど（中高各1学年、生徒数は30名）でした。その後、北棟、南棟と増築され、

400名を超える時期も（昭和56～59年度）ありましたが、交通機関の整備が進み、通学生が増えて寮生は徐々に減少、平成10年度には200名を割り込み、平成15～18年度は100名以下にまで減少していました。

しかし、この十年徐々に寮希望者が増加していました。そして今年、23年ぶりに200名にまで復しました。

昨年1月に共用棟（風呂・シャワー棟）新築、今年は東西棟の内装と、計画的に改修などを進めています。寮生活を希望する方々の期待に応えられるよう、生活をサポートするスタッフを充実させ、よりよい生活空間が提供できるよう改善に努めています。

SSH中間評価発表される

本校は、第2期のSSH活動を展開中ですが、その3年目終了後に行われる中間評価が、7月20日に発表されました。

今回の中間評価を受けたのは全国で77校、6つの評価項目でそれぞれ5段階評価され、6段階の総合評価が行われました。

本校の評価は、総合では第2段階にあたる「これまでの努力を継続することによって、研究開発の狙いの達成が可能と判断される」でした。第1段階の評価を受けた学校が全国で6校、本校同様の第2段階は14校でした。

評価項目別では、「教育内容等に関する評価」で「5」、「研究計画の進捗と管理体制、成果の分析に関する評価」など4項目で「4」、「成果の普及等に関する評価」が「3」でした。この成果の普及に関わる場所は、ホームページなどでの公表など、直ちに改善を加え、他のそれぞれの評価項目においても、改善に着手しています。生徒の活動がますます充実するよう、さらに努力を重ねてまいります。

部活動など結果報告

新型コロナウイルス感染拡大予防から、例年報告している関東大会やインターハイなどは開催されませんでした。7～8月にかけて一部の県大会が開催されましたが、本校生徒もそれらの大会に参加しました。

追悼録 (敬称略)

畑澤 潤一 23理一 2・4・3
秋田 長男 畑澤 千秋

眞仁田 昭 25大心 30・12・8
東京 妻 眞仁田英子

梅村 茂 26理一 2・1・27
北海道 姪 佐藤 理恵

原島 忠 26農教 2・4・17
東京 妻 原島 和子

山本 勝敏 26農教 1・12・9
東京 長男 山本 康敏

酒井 巖 27文四 2・6・22
神奈川 長女 横嶋 洋子

志村 宗孝 27理一 2・2・8
山形 長女 志村 道子

井関 義久 28教大東文 2・5・25
東京 長女 伊藤安芸子

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・
地域・続き柄・遺族氏名

横田 隆吉 28大教 2・6・26
東京 長男 横田 和隆

赤尾 祐之 30教大地 2・6・13
静岡 妻 赤尾 洋子

小岩 勇 31教大体 2・5・2
北海道 妻 小岩美智子

稲葉 洋 32教大経 2・2・28
東京 妻 稲葉千恵子

岩佐 敬山 36教大体 2・6・10
東京 妻 岩佐美佐子

奥田 隆康 40教大農化 1・8・7
東京 弟 奥田 正之



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹 (学校法人 若溪学園理事)

つくば本部 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当: 取締役常務執行役員 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

OZONE 大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料
☆カード利用 OK!
☆貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

令和2年春の叙勲

おめでとうございます(敬称略)

瑞宝中綬章

浅井 慶一 37教大
 峯田 敏郎 39教大
 石原 昌一 39教大
 (山形) 筑波大
 (熊本)

瑞宝小綬章

大室 雄治 36教大
 佐治 和則 47教大
 村松 輝美 47教大
 岡田 進 34教大
 國井 久 46教大
 田島 一利 46教大
 本城 一隆 46教大
 島田 悦郎 48教大
 千村 重平 46教大
 齊藤 康文 45教大
 中村 修 47教大
 三谷 雅樹 47教大
 (北海道) 北海大
 (福島) 福島大
 (茨城) 茨城大
 (栃木) 栃木大
 (栃木) 栃木大
 (栃木) 栃木大
 (栃木) 栃木大
 (千葉) 千葉大
 (埼玉) 埼玉大
 (長野) 長野大
 (福井) 福井大
 (香川) 香川大
 (香川) 香川大
 (秋田) 秋田大

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

広報

第8回 東京茗溪会 総会・講演会・交流会

日時…2020年11月29日(日)
 会場…オンライン(ホスト会場…茗溪会館)

総会…14時
 講演会…15時

講師…弘山 勉氏(筑波大学箱根駅伝監督)
 服部 泰直氏(島根大学学長)
 廣田 則夫氏(元日立建機代表取締役)
 古畑 翼氏(筑波大学大学院生)

交流会…16時30分～17時30分
 申し込みは tokyo@meikei.or.jp にお名前、卒科年、勤務先を明記してください。参加費は無料です。

表紙の言葉

茗溪会事務局

東京都文京区大塚の茗溪会館の周辺も、時代とともに変わりつつあります。

地下鉄茗荷谷駅から茗溪会館に向かう途中の左側に昔あった路面電車(都電)の操車場は、路面電車が廃止された後、都バスの車庫になりました。その後、都バスも撤退し、しばらく空き地となっていました。この夏から中央大学法学部キャンパスの工事が始まりました。

新型コロナウイルス禍で、社会活動が停滞しているように見える現在でも、時間の流れを感じます。

これらの流れの中に在る現在の茗溪会館を切り撮ってみました。

編集後記

新型コロナウイルス禍で影響を受けられておられる会員の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

ご多聞に漏れず、茗溪会の諸活動におきましても、多大な影響を免れておりません。

本季刊誌におきましても、本来は1106・夏号であるところを、今回1106・夏秋合併号とさせていただきます。

次号は1107・正月号を予定しております。会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、諸事情を察しの上、よろしくお願い申し上げます。(事務局)

お願い

・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
 ・年会費のお振込みは、早めをお願いいたします。

令和2年9月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 03-3941-1513

TEL 03-3941-0136

FAX 03-3941-7674

E-mail info@meikei.or.jp

URL <http://www.meikei.or.jp>

郵便振替記号番号 00150214977

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・大会会館内

TEL 029-850-0444

FAX 029-850-0455

E-mail tsu3innu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口1-29-10

山浦印刷株式会社

-筑波大学の知の発信-

筑波大学出版会

<http://www.press.tsukuba.ac.jp/>

刊行予定(仮題)

フェルミオロジー

量子振動と
角度依存磁気抵抗振動

宇治進也 著

発売：丸善出版株式会社

TEL:03-3512-3256

FAX:03-3512-3270

<https://www.maruzen-publishing.co.jp/>

昆虫に生涯を捧げた教授の
サクセスストーリー

町田龍一郎 監修



カラー/紙版・電子版
A5判/並製/156頁

本体1,950円+税

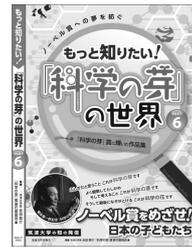
紙版 ISBN978-4-904074-54-1

筑波大学山岳科学センター
菅平高原実験所編

虫愛づる人の虫がたり

シリーズ本
もっと知りたい!「科学の芽」の世界

PART 6



紙版 ISBN978-4-904074-53-4

PART 7 新刊



「科学の芽」賞実行委員会編
カラー/紙版・電子版/B5判/並製/220頁

本体2,200円+税

本体2,200円+税

紙版 ISBN978-4-904074-56-5

2020年6月30日刊行

株式会社 阿部兄弟建築事務所

平成28年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人(昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士

株式会社 岩手チキン工房

— みんなに笑顔をお届けします。 —

代表取締役社長 田中 修 (昭54筑農林)

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1
TEL : 019(676)4121 FAX : 019(676)4464
<http://www.i-c-koubou.co.jp>



株式会社 十和観光

代表取締役社長 井坂信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒900-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡
2004年卒)

FXC

Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者：代表取締役社長執行役員 谷輪 重之(93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケイエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669

株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)5478

取締役常務執行役員 植岡 祥之(昭57筑社工)

広告を募集しています。事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012 東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136 FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp ホームページ <http://www.meikei.or.jp>

日本一の業務用酒販会社で一緒に楽しく働きませんか？

※業務用…居酒屋、BAR、レストランなど料飲店のお客様

カクヤスは、酒類・食品等の料飲店及び一般家庭向け販売、「なんでも酒やカクヤス」を主力とする店舗運営を行っております。全国各地から多数入社しており、若手からベテランまで活気のある会社です！



圧倒的な
配達拠点数



年中無休
365日配達



365日24時間
受注体制



急なご注文も
即日配達



社員の家族も招待して乾杯する【全社懇親会】や割安で商品を購入できる【社内販売割引制度】、年齢や部署を超えて交流できる【部活動・サークル活動】など、魅力的な制度をたくさんご用意しております。

国内業務用酒販売上NO.1!

(2016年調査会社調べ)

顧客満足度NO.1!

(首都圏飲食店2017年5月調査会社調べ)



株式会社カクヤス

<会社概要>

本社：東京都北区豊島2-3-1
代表取締役：佐藤 順一
創業：1921年11月1日
資本金：355百万円

<仕事内容>

・料飲店などの業務店のルート配達
・一般のご家庭への配達

HPにも遊びに来てくださいね！



連絡先：03-5902-3617
(人材開発部 採用担当)

なんでも酒や **カクヤス**
<http://www.kakuyasu.co.jp/>

結婚の価値に 気づくとき。

新型コロナウイルスのまん延で、テレワークやステイホームの日々、

「二人で歩む人生」の大切さに気づく方が多くなりました。

ご子息・お嬢さまに、熱心に結婚を勧めるご両親が増えました。

誠実な出会いからはじまる結婚の素晴らしさ、真実の言葉で確認できます。



真実だから、伝わる。実話だから、共感できる。

3,500通を超えるメッセージから、
珠玉の実話を厳選。

ご入会の方へ
プレゼント中

キューピッドクラブ 検索

毎週届くご結婚カップルの真実の言葉。

●ご婚約カップルに接したスタッフブログも更新中。

キューピッドの 結婚



キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年S・U・L・Cの名称で設立以来40年。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽にご請求ください。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。

結婚を誠実に考える人の会員制クラブ



Cupid Club

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金（税サ込）
（ただし、オリンピック期間など除外期間あり）

シングルB（バス・トイレ別） ￥4,500～￥ 6,700
 シングルA（バス・トイレ付） ￥5,700～￥ 9,000
 ツイン（バス・トイレ付） ￥8,000～￥14,500
 朝食バイキング ￥1,200→￥ 840
 大浴場時間 : 6:30～9:00 17:00～01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
 TEL 03 (3356) 4605
 FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
 都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口 } より徒歩7分
 地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口 }
 JR新宿駅より車5分

桜美林大学 J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
 ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
 グローバル・コミュニケーション学群
 航空・マネジメント学群(2020年4月開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
 学長 畑山 浩昭
 入学部相談役 川田 孝一（昭39教大総農）

【お問合せ先】
 〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
 桜美林大学インフォメーションセンター
 Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



One Theme
クレイス叢書

学びの「エンゲージメント」

主体的に学習に取り組む態度の評価と育て方

櫻井茂男 著 四六判, 160頁 定価(本体1,800円+税)

主体的に学ぶ子どもを育てる鍵は
 学びの「エンゲージメント」にあり！

- 学びの「エンゲージメント」とは、
「学習課題に没頭して取り組んでいる心理状態」のこと。
- 学習意欲・動機づけ研究の第一人者が、
心理学の概念「エンゲージメント」を足掛かりに
「主体的に学習に取り組む態度」についてわかりやすく解説。



〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15
<http://www.toshobunka.co.jp/>

図書文化

TEL. 03-3943-2511 FAX. 03-3943-2519

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆ 国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆ 文部科学省 SSH・SGH アソシエイト認定校です
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です

2021 年度茗溪学園入学試験日程

中学グローバルコース入試
専願 11月27日(金)、併願 1月10日(日)
中学推薦入試・帰国生入試 12月12日(土)
中学英語資格入試
第1回 12月12日(土)、第2回 1月10日(日)
中学一般入試
第1回 1月10日(日)、第2回 1月24日(日)
高校帰国生特別選抜
第1回 11月27日(金)、第2回 12月12日(土)
高校推薦入試 1月9日(土)
高校一般入試 1月24日(日)
高校IB入試(専願、IBDPコース) 1月24日(日)
(中学では2021年度より「アカデミアクラス」
が設置されます。詳細はホームページなどでご
確認ください)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)